

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	らいふテラス蛍池	公表日	2026 年 5 月 28 日
------	----------	-----	-----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		適切です。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		適切です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	階段の使用は、少しでも危険を軽減するべく靴下は脱いで手すりにつかまって昇降することを徹底している。	室外のエレベーターから非常扉を開けて室内への出入りは可能だが、普段は室内の階段を使用している。感染対策として喚起は常に行っている。冬季は加湿器を使用している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	粗大あそびができる空間と集中して遊べるように壁を向いての机上遊びと分かれることで落ち着いて過ごせている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	まわりの刺激に振られやすい子は1階の面談室で個別課題をする等の工夫をしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	終礼でその日の集団活動の振り返りを行い、反省や考察を話し合うことで次回の活動に活かしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		保護者から頂いたご意見を職員で共有し、今後の運営に活かしていけるように、話し合う場を設ける。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日朝礼と終礼を行い職員が気がついたことなどを情報共有している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者による外部評価を行うことを検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	月に一度、研修の機会を設けている。	より専門性を高められるように、テーマを設けてスキルアップしていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPとリタリコ発達ナビに掲載されている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	契約時にアセスメントする際や、半年ごとのモニタリング時には保護者の思いやニーズを聞き取りし、個別支援計画に反映させている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	個別支援計画の原案を見ながら職員全員で個別支援計画の検討を行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画の長期目標や短期目標、具体的な到達目標に向けて個別活動、集団活動の内容を工夫しサービスを提供している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	子どもの発達段階に合ったサービスが提供できるように標準化されたツールを用いてアセスメントを行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで保護者のニーズと子どもの発達段階をアセスメントし具体的な支援につなげている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	終礼でその日の集団活動の振り返りを行い、反省や考察を次回の活動に活かしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	集団活動は発達年齢によってグループに分け、活動内容を変え行っている。ねらいは同じでも活動は楽しく行えるように工夫し、こどもの成長につなげている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動は担当職員と1対1で行っている。 集団活動は、発達年齢によって活動内容をかえることで、一人ひとりの課題に沿ったプログラムにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼でその日の支援内容や送迎の打ち合わせ、確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼では必ずその日の振り返りや翌日の打ち合わせを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録に加え、個別活動の記録も持っている。	個別記録をつけることで、担当だけでなく全職員が子どもも理解できるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングでは、療育の様子を動画で見てもらいながら、子どもの成長や課題を共有している。	6か月に一度のモニタリング以外にも、必要に応じて個別支援計画の見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	相談支援員がいる利用児は、話し合いの機会をもつようにしている。	セルフプランの利用児は他事業所と情報提供をすることはあるが話し合いとまでは至っていないので、今後の検討していきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		保護者の要望を受けて、関係機関との連携を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	関係機関連携の際には個別支援計画をみながらお互いの情報を共有し、目標を同じにするなどの話し合いをしている。	保護者の要望を受けて、関係機関との連携を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		保護者からの要望がある場合は行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		現在は児童発達支援センターとの併行利用児がないが、必要に応じて助言を求める機会を持ちたいと思っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		幼稚園、こども園、保育園に通っていない利用児がないため特に交流する機会を持っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時にはその日の様子やエピソードを伝えている。	保護者と関係をつける為に送迎時に話す機会を増やす。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		モニタリングや面談で子どもの困りごとに対してのアドバイスは行っている。それをペアレント・トレーニングと捉えるかどうかは保護者によって異なる。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		契約時には丁寧に説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		モニタリング時には来所してもらい、保護者の思いやニーズを聞き取りし、個別支援計画に反映させている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		児童発達支援管理責任者が直接保護者に説明を行い、同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	連絡帳に悩みが書かれてある場合などにはこちらから面談を申し入れることもある。	保護者から相談の希望があればすぐに面談をし、対応している。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		いろいろな考えの保護者がいるので、保護者会を開催するか検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者から相談の希望があればすぐに面談をし、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	デイの様子や集団活動の取り組みをInstagramやブログで紹介している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		個人情報扱う書類は、鍵付きの書庫で保管している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	口頭や電話、連絡帳などの手段で必要な情報が保護者に伝わるようにしている。	保護者の特性も考慮し、家庭支援している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		祝日や長期休暇の日には、利用児と周辺散歩することがあり、近所の方に挨拶をしたり、公園で地域の子どもたちとあそぶこともある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		職員間では周知しているが、保護者に認知できていないものもあるので周知する必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	月に1度避難訓練を実施している。	火災、地震、不審者対応、水害等を想定して避難訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		契約時のアセスメントの時に必ず健康面について聞き取りを行っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	ナッツアレルギーの利用児がいるので、ナッツが入っているおやつは購入しないよう注意している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		月に一度の避難訓練を含め安全管理に努めている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		全家庭に安全計画に関するお便りを配布している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		大きい事故を防ぐためにも、普段からヒヤリハットを作成し、終礼などで情報共有している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		虐待についての研修を行い、虐待防止に努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		現在身体拘束を行う可能性のある子どもの利用はないが、身体拘束が必要な事例などを職員間で話し合う機会を持った。	